

保護者各位


 認定こども園 舞戸保育所
 園長 吉田 諭大

来年度の園の運営方針について

日頃より当園の運営には何かとご協力を賜り厚く御礼申し上げます。保護者の皆様のおかげをもちまして、今年度予定されていた全ての教育・保育事業を無事に終えることができました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

さて、来年度の園の運営方針について下記の通りお知らせしますので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

●来年度のクラス編成について

(※人数は現時点のもの)

年齢	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2 歳児	1 歳児	0 歳児	計
クラス名	つばき組	さくら組	すみれ組	つくし組	もも組		
園児数	6	14	10	6	13	1	50
保育者数	1	1+フリー	1	1	3+フリー+子育て支援員		10
保育室	現つばき・さくら組	現すみれ組	現つくし組	現もも組			
				下半期はすみれ組へ			

◎つくし組(2歳児クラス)は、上半期はもも組(0・1歳児クラス)と同じ保育室で保育を行い、下半期はすみれ組(3歳児クラス)と同じ保育室で、保育・教育を行います。(※在園児は、年度開始時点では今年度と同じ保育室となります。)

来年度のつばき組の人数が6人と少ないですが、つばき組・さくら組の合同クラスにすると20人となり、保育室がやや手狭になってしまいますので、つばき組、さくら組はそれぞれ単独クラスとして運営します。それにより、保育室が1つ不足となりますが、つくし組を、上半期と下半期で保育室を移動することで対応させていただきたいと思えます。

上半期はつくし組・もも組の合同クラスとして運営し、つくし組が自立・成長してくる下半期頃からはすみれ組・つくし組の合同クラスとして運営します。また、これにより、もも組への途中入園による人数の増加へも対応可能となります。

年齢の異なる子どもでクラス活動を行うことによるメリットは大きく、年下の子は年上の子を見て憧れを抱きながら学び、年上の子は年下の子のお世話をしたり、教えたりすることによって自信をもち、思いやりの心が育つことが期待できます。今年度のつばき組・さくら組の合同クラスでも、その効果が顕著に現れていたと感じます。来年度のつくし組の保護者の皆様におかれましてはご不安もおありかと思いますが、子どもたちがスムーズに移行できるように万全の態勢でバックアップして参りますので、どうかご安心くださいと思えます。

昭和58年建造の古い園舎のため、設備が古く、保育室の数が不足しているため、いつも大変ご不便をおかけしております。法人の理事会においても、近年中の園舎の建て替えについて計画されているところですので、保護者のご理解・ご協力をお願いいたします。

●行事について

◎平成31年度も、作品展の開催を休止させていただきます。

今年度、試験的に作品展を休止させていただきましたが、普段の教育・保育の中で随時、作品や絵画などの製作活動を行うことで、子どもたちの豊かな感性と表現力の向上に十分に寄与することができたと感じますし、また、秋の外遊びや散歩などの機会も増やすことができました。来年度も同様に作品展を休止し、その分、子どもたちが自然と触れあったり、様々な体験をする機会を積極的に設けるよう計画していきます。製作物はその都度園内に展示し、保護者の皆さまにご覧いただきたいと思えます。

◎その他、一部の行事や業務内容を簡素化させていただく可能性があります。

「保育士等キャリアアップ研修」の受講や、幼稚園免許状の更新講習の受講のため、保育者が遠方へ出張しなければならない機会が多くなっていることに加え、来年度からの「働き方改革」の施行により、保育者のお休みも多くなるため、勤務体制のさらなる圧迫が予想されます。保育者一人ひとりが保育に対するモチベーションを高めるため、休むことも保育の一環であると考えますし、また、現状や課題から、業務内容の見直しを行うなど、施設レベルでの働き方改革も喫緊の課題となっています。子どもたちの健やかな育ちにつながるよう、教育・保育の質を高め、保育者・職員の労働環境を改善していくため、一部の行事や業務内容を簡素化させていただく可能性があることをご了承ください。